資料１

# 第３回新庁舎建設基本計画検討委員会（有識者会議）での協議結果について

開催日時：平成３０年８月２９日（水）１３時３０分～１５時３０分

１　議事

（１）前回会議の協議結果等について

【配付資料の概要】
　前回会議の議論を振り返り、新庁舎建設に係る基本理念・基本方針、建設場所、現本庁舎の存廃について、市民アンケート等の結果も踏まえ、当日の第 3 回会議において再度議論を行うことを確認した。

【有識者会議での整理】
　新庁舎への集約が想定される書庫施設等の詳細資料や、各行政庁舎における駐車場台数などの資料について、第４回会議で提示することとした。
　建設候補地周辺の脆弱性に対する評価の必要性について意見が出され、第４回会議以降に改めて整理を行うこととした。

（２）前回会議までの保留事案について

【配付資料の概要】
　市民アンケート、市民会議の結果を提示した上で、新庁舎の建設場所、現本庁舎の存廃、基本方針・基本理念、新庁舎への導入機能の４点について、現況での整理を提示した。

【有識者会議での整理】
　建設場所の評価が適切かどうか、評価を点数化してはどうかという意見があり、第４回会議において、資料を提示することとした。
　現本庁舎の存廃に関し、専門家等の意見を聞くこと、少数派ではあるものの３０％を越える「関心がある」という意見の取り扱い等に関して意見が出されるとともに、増田建築としての価値以外の要素についても加味するべきという意見が出された。
　会議時間の都合もあり、保留事案とした４件については、第４回会議に再度諮ることとし、その際には、少なくとも場所と中身については、どうするかということを整理したいとした。

（３）事業手法・事業スケジュールについて

【配付資料の概要】
　今回の新庁舎建設事業におけるＰＦＩ方式採用のデメリット等を整理するとともに、従来方式及びＤＢ方式の比較検討結果を提示した。
　また、前述の２案に係る新庁舎建設事業の全体スケジュール案を提示した。

【有識者会議での整理】
　事業手法については、本会議で決めるのではなく、本会議でご意見いただいたものを基に今後決定するものとし、ＤＢ方式を採用した場合の仕様書の作り込みや発注体制に課題が残ること、性能発注による建設ノウハウが失われることなどに関して意見が出された。